



# にんじんの歴史はいっぱいだよ。



## 1 西洋系のにんじんは、日本にどうはいってきたか。

15世紀以上オランダが開いた品種改良で黄色タイプから芯までオレンジ色のものが生まれたのです。これが、西洋系の「カロチン人参」とよばれるものはじまりです。日本には、江戸時代後期から、ヨーロッパから、長崎県に入りました。ところで、どうして人に、参で人参というの、古来中国では、参というの、大自然の恩恵を受ける人間を守る神様の名前でした。その上で根っこは人参が人の形にしているから。でもその時はにんじんはあまり知られていないけど、今から70年前の大平洋戦争の後、知られるようになりました。でも、今はカロチン人参は、あまりないと思いますなぜなら、人参は日本でも進化しました。だから、今の人参は、春人参や五寸人参、三寸人参。とかが今の人参です。

## 2 日本へのとらい

- 1 日本にニンジンができたのは中国からで、江戸時代の16世紀後半から17世紀初めはじめ。伝わってきた場所は今の長崎県といわれる。
  - 2 日本にんじんのれきしはおよそ400年前。
  - 3 日本の書物にニンジンがはじめて登場するのは、林道春の「多しきへん」（1631年に書かれた。）。しかし、そのころには、にんじん自体は、もう伝わっていた。
- 『チョウセンニンジン』や『オタネニンジン』と区別するために、新しく伝わってきたにんじんのことを【セリニンジン】としている。

## 3 にんじんの味

- ・にんじんは、昔青くさがすごかった。
- ・青くさがあたらえいようがあまりないことがわかっている。
- ・さいきんにんじんは、栄養価も高く、くさみもあまりなくなってだれもが食べやすいものになっている。
- ・にんじんの色はいろいろあるが味は、世界中よく似ているようだ。
- ・ほとんどの地域で作られているようだ。

## 5 日本で好まれているにんじんはどんなものか

育ちの良い美味しいにんじんの大きさは約12から13cmです。にんじんは、成長してから夏の暑さに弱くなるので、注意すること。にんじんを植えた時は、アオムシ「キアゲハの幼虫」が発生する。

## 4 アフガニスタンから来たにんじんの今・・・

藍住町の有名な人参はビニルハウスでじっくり育てているから、やわらかく、あま味のある人参ができるんだよ。春の約一ヶ月に取れる徳島県の人参は売れる数なんと・・・全国一位です。

### 理由

春ごろには、他の地方では、ちょうど育てているころなので春に売っているのは早く収穫しているのが徳島県の人参が多く売れる。その多くの人参が徳島県の藍住町と板野町で作られている。